

# 全国協議会 ニュース

2011年11月1日発行  
第233号

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:中野勝博  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 新たな枠組みの構築に向け 造血幹細胞移植委員会再開

10月13日、1年2か月ぶりに厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が開催されました。発足当初はほぼ毎月のように開催されていた本審議会も、今では何か動きがないと開催されません。久々の開催には何か理由があるのではないかと、多くの関係者が注目したのではないのでしょうか。今回は3テーマが議題でした。

第1議題は骨髄バンクの非血縁者間末梢血(PB)幹細胞採取のドナー条件の拡大です。昨年10月から「骨髄提供履歴あり」の条件下で骨髄バンクを介したコーディネーターが開始されていますが、これまでに1例の提供が実現したに過ぎません。この10月から条件を緩和し、提供者の拡大を図るという報告でしたが、財団が考えているほど簡単には、PBドナーが増えないのではとの印象を受けました。

第2議題は日本赤十字社がさい帯血バンクを関連事業として正式に位置づける決定がなされたことへの報告でした。これまで各地の血液センターが自主的に開いていたさい帯血バンク事業ですが、日赤が更に一歩進めた形で取り組むことになったようです。

第3議題は、日本さい帯血バンクネットワーク(NW)が6月にまとめた「将来構想検討会・中間報告」でしたが、第2議題と合わせて、今回の会合の主要テーマはさい帯血バンクだったと言えます。

開けたことから、近年さい帯血移植数は骨髄にならぶ年間1200例の実現も予想され、月間では骨髄移植数を越える月もある程に拡大しています。しかし、現状の補助金制度や診療報酬制度では事業を安定的に支えられないことから、各バンクとも赤字運営が続いています。移植医療の需要が高まる中、社会的責任に応えながら、標準化した調製保存や検査業務を円滑に進めるための事業統合が日赤系のバンクを中心に進められています。11あったバンクは来年4月には9つに、さらに宮城バンクの統合も見据えられ、将来に向けた動きと考えられます。

席上、齋藤委員長より発言を求められたNWの中会長からは、「骨髄とさい帯血、両バンクのリストラにはつながるが、広い視野で造血細胞バンクの実現も考える時期ではないか」との発言が印象的でした。

第一線の移植医である委員からは「骨髄、さい帯血、末梢血をソースとして、様々な移植に対応できるように充実してきた。いつでも移植が可能にはなっていないが、患者や家族が望めば医療費が膨らむような厳しい移植に取り組むこともあり、本当はどうあるべきか考えることもある」との発言もありました。

また他の委員からは、「造血細胞移植は既に先端医療ではない。採取のためのコーディネーターや保存調製に費用がかかる骨髄液やさい帯血は今の診療報酬制度には馴染まない。更に発展する

ヒト由来の細胞を活用しての治療が今後益々増えることを考えたら、今から新たな診療報酬の棚作りを考えるべきではないか」との発言もありました。

骨髄バンクのドナー登録数、さい帯血バンクの保存数、そしてそれぞれの移植数は順調に伸びており、表面的には一見何ら問題はないように見受けられますが、どちらも様々な問題を内包していることは、これまでに私たちが機会あるごとに指摘してまいりました。全国協議会で、3年前に「造血細胞移植医療将来像検討会議報告」を発表、昨年米国視察をもとに、「造血細胞移植推進法(案)」の策定など、将来に向けて様々な提言をしています。

今回日赤がさい帯血バンクへの積極的な関与の姿勢を示したことは、造血細胞移植事業の将来を見据えた大きな改編の第一歩を踏み出したことになるのではないのでしょうか。そういった空気が、審議会委員や出席者の発言の端々から感じられ、何か静かに動き出した、そんな印象を受けました。

大きく成長した日本の造血細胞移植医療が、更なる成長を遂げるために、これまでの枠組みを超えた柔軟な発想で話し合う場が、今こそ必要と考えます。

定期的な審議会の開催とともに、私達ボランティアも含む関係者一同を集めた公開フォーラムの場での議論を期待します。

## 新臓器移植対策室長に期待! 造血細胞移植医療の改革は?

骨髄バンクやさい帯血バンクを担当する厚生労働省健康局疾病対策課臓器移植対策室の室長が、9月1日付で交代されました。

ここ数代、室長交代の度に、編集部ではインタビューに伺ってきましたが、今回は菅事務局長、小川理事、黒川事務局員の3名で10月17日に、財団への適正な指導を求める要望書を携えて面談に伺いました。

所狭しと床にまで資料が置かれた対策室の一角で、とても大柄な間(はさま)隆一郎新室長がこやかに私達を出迎えてくださいました。

「いまの骨髄バンクの実状について、皆さんのお考えを色々とお伺いしたい」と先手を取られ、聞き上手の間室長に乗せられて、これまでの歴史に始まり、ド

ナ登録数にボランティアが関わったいきさつ、これからの登録会のあり方やなかなか伸びない提供率など、骨髄バンクが抱える問題点やこれからの造血細胞バンク構想まで、気がつけば2時間近くも話し込んでしまいました。

着任したばかりなので、事前に用意した質問への回答はありませんでしたが、さい帯血も含めた医療の領域が思った以上に入り組んだ状況で深く難しい問題を抱えているので、腰を据えて取り組まなくてはいけない」という決意と共に、都道府県や日赤、ボランティア団体が話し合う場となる地域協議会の設置については、「それほど難しい問題はないと思うので、すぐにでも取り組めるのではないかと」との言葉を頂きました。

しばらく途絶えていた財団の常任理事会への対策室メンバーの陪席も復活したとのこと。1年2か月ぶりの審議会の再開もあり、間室長には各所からの話をまとめた上で、改革に向けた大きな一歩を踏み出しているのだと願い、長々居座った対策室を後にしました。

連続で参加しました。今年は、移植を受けて元気になった元患者さんやドナー・移植家族らが10kmの部に3名、3kmの部に1名、駅伝の部に2チームが出場したほか、昨年参加された方から「個人参加ですが、今年も骨髄バンクのタスキをつけて走りますよ」との嬉しい申し出もあり、参加人数約2960名の中に、黄色いタスキをたくさんみつけることが出来ました。参加者の皆さんからの感想を一部ご紹介いたします。

◆すぐ楽しかったし、ゆつくり体によい健康的な走り方をしました。(早川) ◆暑かったけどみんな笑顔で完走できました。(宮城) ◆一キロの駅伝でしたが楽しかったです。また出来れば参加したいと思いました。(工藤) ◆15人ぐらい抜いたので、自分としては満足した走りが出来て良かったです。(富沢)

◆骨髄バンクのタスキをつけて走りましたが皆さんに応援していただき、とても楽しく走れました。(斉藤) ◆今回は自分が提供した患者さんからの手紙と、自分が提供した骨髄液と同じ量の水を背負って走ってみました。命の重さを知りました。(笠間)

◆寛解したら走ろうと思っていきましたけど、箱根駅伝等を見て歩いてでも自分でやらないといけないと思えました。支えてくださった皆さんありがとうございます。(鳥羽)



◆箱根駅伝での啓発活動  
新春恒例、1月2・3日に行われる箱根駅伝での骨髄バンク啓発活動。今年第88回大会も、関東学生陸上競技連盟のご理解のもと、初日の大手町スタート直後の御成門から箱根までの往復各所で、真っ赤なタスキをもち啓発活動を行います。

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

## 骨髄バンクのタスキをつけて 過去最高の参加者数全員完走

移植医療への正しい理解を求め、生命や健康の大切さを知ってもらう趣旨の2011グリーン

リボンランニングフェスティバルが、10月23日に国立競技場で開催され、全国協議会も4年

連続で参加しました。今年は、移植を受けて元気になった元患者さんやドナー・移植家族らが10kmの部に3名、3kmの部に1名、駅伝の部に2チームが出場したほか、昨年参加された方から「個人参加ですが、今年も骨髄バンクのタスキをつけて走りますよ」との嬉しい申し出もあり、参加人数約2960名の中に、黄色いタスキをたくさんみつけることが出来ました。参加者の皆さんからの感想を一部ご紹介いたします。

◆すぐ楽しかったし、ゆつくり体によい健康的な走り方をしました。(早川) ◆暑かったけどみんな笑顔で完走できました。(宮城) ◆一キロの駅伝でしたが楽しかったです。また出来れば参加したいと思いました。(工藤) ◆15人ぐらい抜いたので、自分としては満足した走りが出来て良かったです。(富沢)

◆骨髄バンクのタスキをつけて走りましたが皆さんに応援していただき、とても楽しく走れました。(斉藤) ◆今回は自分が提供した患者さんからの手紙と、自分が提供した骨髄液と同じ量の水を背負って走ってみました。命の重さを知りました。(笠間)

◆寛解したら走ろうと思っていきましたけど、箱根駅伝等を見て歩いてでも自分でやらないといけないと思えました。支えてくださった皆さんありがとうございます。(鳥羽)



◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

◆来年もやります!  
2002年に有志2人で始めた活動も今回で10年目。出場校の学生さんにものぼりをもつて頂いたり、中継時に紹介

### 東日本大震災被災者支援基金

9月21日～10月20日(合計3,480,369円)  
千葉骨髄バンク推進連絡会  
(三井化学秋まつり募金箱) 現金 21,661円  
岡田 智子 現金 5,000円  
川上 幸江 現金 20,000円  
グリーンリボンランニングフェスティバル  
募金箱 現金 17,457円  
(敬称略)  
給付累計件数 10件 合計1,672,260円

### 基金積み増しにご協力ください

●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)  
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会  
00150-4-15754  
●銀行の場合  
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会  
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

### SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011

スノーボードと骨髄バンクを未来に伝える。  
20年間の冒険の活動に  
僕は命を救われました。  
プロスノーボーダー 荒井 DAZE 善正  
骨髄バンクがあったから、今ここに僕がいます。そんな僕にできること。愛するスノーボードをとおして、若い人たちにもっと骨髄バンクを知ってもらおうイベントを企画しました  
日時: 11月12日(土)～13日(日)  
場所: 代々木公園  
URL: http://www.snpf.net/

### 理事会メンバーの抱負

◆村中忠雄 理事  
当初は、「神奈川骨髄移植を考える会」等から推薦を頂き、理事に就任し、3期目になります。今、全国協議会は大変な危機にあり、ここ数年続いている加盟団体との関係等の問題に対してはしっかりと対応して改善を図り、新たな課題に挑戦する、出来る仕組みづくりが求められており、それには、前例踏襲はもう終わりにし、一歩も二歩も踏み出し自らが変わることが大事だと考えています。3期目はこれらの課題に対し、活動の原点に還り、骨髄バンクに係わるあらゆる団体との連携と協働、地域を大事にした活動を。そのために、財団、日赤、患者団体、行政等との連絡、調整を密にして、協力態勢づくりと連携の強化、更には、患者及び患者家族、地域の声をしっかりと聞き、全国協議会と各地域団体等関係者との繋がりを密にして、ともに汗を流す、風通しのよい協議会及び理事会運営の合理化、効率化を目指して力を注いで参りますのでよろしくお願ひします。



# 共催イベント 北から南から

愛知県名古屋市長 20年目の節目に学ぶ  
いのちと家族の絆

10月10日、ウイנקあいち(愛知県産業労働センター)小ホールにて「骨髄バンク設立20周年記念イベント」つなげよう「いのち」を開催しました。昨年、妹さんから末梢血幹細胞移植を受けて元気になられた元中目ドラゴンズの大豊泰昭さんをお招きし、体験談をお話しいただき、骨髄バンクの必要性を伝えていただきました。続いて大谷貴子さん、元患者さん、ドナー体験者をお招きのトークショー。医療系バンド「ハートフルホスピタル」によるコンサートと、いずれもいのちについて改めて考える事の出来る内容でした。

北海道札幌市 藤女子大でパネル展  
テーマは「いのち」

藤女子学園は、中島みゆき、大橋純子、田中裕子といった著名人がかつて在籍したことでも知られている。札幌では歴史の古いミッションスクールです。同じキャンパス内に、中学・高校(一貫制)と大学があります。10月15、16日と二日間、渡り行われた大学祭では、在学生のほかOGや近隣の方もおとずれ、活況を呈しました。

今回、在学生の「エンブリオ(8週までの胎児)を守る」、赤十字血液センターの「献血PR」と一緒に会場で、「骨髄バンク啓発」の三者共同のパネル展を行いました。娯楽イベントや学術発表の中で、いのちをテーマの三種のパネルは興味を引き、時間をかけて一枚一枚読んでいく人も多く見られました。この反応を、抹消者数増加が深刻な北海道の活動に反映させたいと思います。(北海道協会 阿部)



## 各地の たより

札幌 チャリティコンサート  
珍しい馬頭琴も初登場

北海道協会では、10月5日、札幌コンサートホールにて11回目となるチャリティコンサート

各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

を開催しました。中心となって企画を支えてくださる土田英順氏は、内外で活躍したチェリストですが、現在は社会貢献に意を注ぎ、私達を支えてくださっています。そしてこのコンサートでは、



札幌在住の若い演奏家の発表の場にもしようと、声楽・器楽の若手のステージも組んでいます。今回は、ヴァイオリン・ソプラノ・土田氏のチェロに加えて、モンゴルの伝統楽器・馬頭琴と独特の発声で知られるモンゴル歌謡ホーミーの演奏を企画しました。写真は馬頭琴、棹の上部に馬の装飾があり、弦も馬尾毛です。(北海道協会 加藤)

福岡 いのちの輝き展十登録会  
眠る善意は想像以上

10月15、16日に福岡県骨髄バンク推進キャンペーンの一環で、イオン福岡伊都店において「いのちの輝き展」とドナー登録会を行いました。

「いのちの輝き展」では啓発チラシの配布、パネル展示、バルーンアート、SBホークスの杉内俊哉選手のビデオメッセージ放映やミニコンサート、ドナーや元患者などの講演が行われ、多



九州大学の合唱団の皆さんが歌声を披露

くの買い物客の方々が足を止めてくださいました。福岡県、会場を提供してくださったイオンさんの協力も篤く、おかげでドナー登録者は2日間で62名に上りました。ドナー登録をされた方々からは「登録しなかったけれど、どこで登録すればいいかわからな

## ボランティアの仲間たち



私は小さいころに、お父さんとお母さんが献血をする時に、数回付き添って行った事がありました。献血が病気の人を助ける事が出来るのは知ってました。それからしばらくして、お父さんが2回目の骨髄提供をする事になったので、骨髄移植や白血病など骨髄移植が必要になる病気についても少しずつ興味を持つようになりました。

そして今年の6月に大垣で「骨髄バンクのボランティア大会」があり、田中重勝さんの好意で、お父さんと一緒にお手伝いさせてもらえた事ができました。大会には多くの方が参加されていますが、その中には骨髄移植をして病気が治った元患者さんも多くみえていました。

プロジェクトXの本で読んだ事がある大谷貴子さんや、市川團十郎さんも元患者さんとして参加されていたので、すごい大会だなあと感じました。それから私は何人かの人々が骨髄バンクに登録しているのだらうとか、どうしたらもっと多くの人が登録してくれるのだらうと、ずっと思っていました。それで夏休みの統計グラフ

かったなどの反応も多く、いつもの啓発の必要性を感じました。震災や不況など暗い世の中ですが、人々の間に眠る善意は想像以上に大きく、それに触れることができたとても有意義な2日間でした。(リボンの会 宮地源吾)

## 心の声

母が骨髄を提供して(その3)  
菅野倫匡さん

退院後も、母はしばらく腰が痛そうでした。重い荷物を持たせないように、自分が代わりに持ったりしていました。母に負担を掛けさせないようにしなければと思いましたが、自転車の後ろの籠が腰に当たると言っていたのを覚えていました。それから、少しの間母の腰をいたわりながらの生活が続きました。気がついた頃には母は元通り元気になっていました。

(課題作品)で、私たち小学生にも知ってもらうため、骨髄バンクに関する事をやってみました。資料集めは名古屋にある財団の地区事務局へお父さんと行って、色々資料をもらってききました。そしてグラフを完成させました。

骨髄移植は重たい内容なのでどうしても暗くなってしまいましたが、それで自分が生まれた時から少くも多くの人に骨髄バンクの事を知ってもらえるために、目立つように明るい色使いにしてみました。

## 心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月21日~10月20日	現金	500,000円
菊水酒造(株)	現金	10,000円
株エイブラクト	現金	4,200円
株エグゼキューブ(株)	現金	38,200円
片岡演劇道場(有)	現金	30,000円
玄海 竜二	現金	1,340円
鈴木 純子	現金	6,897円
須藤 勝巳	現金	10,000円
榎尾 元春	現金	30,000円
高橋計凱	現金	10,000円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	

●白血病患者支援基金	現金	7,775円
磯屋食堂	現金	3,171円
鎌倉屋	現金	7,066円
イオン九州(株)イオン都城店	現金	6,859円
足立眼科医院	現金	41,902円
コスモ石油労働組合	現金	22,842円
株ルーテック・サクライ	現金	6,000円
設計工房 夢屋	現金	64,154円
株ウエダ薬品	現金	6,000円
坂本 憲枝	現金	

●佐藤さち子患者支援基金	現金	48,000円
MRIインターナショナルINC.	現金	45,000円
高田 美雄「亜沙美の日」	現金	12,000円
井上 紀生・政子	現金	
MRIインターナショナルINC.	現金	2,754円
コンサート会場募金箱	現金	(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

(財団マンスリー JMDP (10月15日発行) より抜粋)

## 骨髄バンク NOW

### ●公益財団法人への認定申請について

平成20年12月1日に施行された新公益法人制度により、財団は、寄附金に優遇税制が適用される公益財団法人に移行することとし、9月26日に認定申請を行いました。審査の結果、認定された後は、「公益財団法人 骨髄移植推進財団」と名称変更をして、新たなスタートを切ることになります。業務内容に変更はありませんが、新制度における評議員会は「最高意思決定機関」、理事会は「業務執行機関」と大きく役割が変わり、委任状や書面表決の提出が禁じられ、会議への出席が義務付けられます。さらに、厚生労働省から内閣府に監督官庁が変わり、毎年度、認定審査を受けることになります。

### ●PBSTを含むコーディネートについて

本年10月より、末梢血幹細胞移植(PBST)を含むコーディネート対象ドナーの条件から「骨髄バンクでの骨髄提供経験あり」を解除しました。これにより、件数の増加が予想されます。

### ■ PBSTを含むコーディネートの条件

- ① 患者が非血縁者間PBST認定施設で移植予定であること
- ② HLA アリルミスマッチがないこと
- ③ ドナーがPBSC 採取施設へ通院可能(近隣在住)であること

### ●骨髄移植までの待機期間が長い現状について

患者さんの移植希望時期に合わせた骨髄等採取施設の日程確保が困難な状況下に陥っていることは数年来の課題になっており、採取施設が確保できないことにより待機期間の間に患者さんの容態が変化し、せっかくドナーが存在するにもかかわらず移植に到達

できない患者さんがたくさんいます。要因として、採取日程調整の行程で多くの時間が費やされていることが考えられます。財団では、より一層の特段の便宜を図っていただきたい由を、日本造血細胞移植学会、日本血液学会、日本小児血液学会、日本輸血・細胞治療学会にお願いしました。

■9月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,554人、献血併行型集団登録会 / 2,120人、集団登録会 / 85人、その他 / 78人

■骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 717人  
■DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 448件

■国際協力の現状(2011年7月~9月)  
<海外ドナー=>国内患者>移植数0件: 累計移植数: 168件  
<国内ドナー=>海外患者>提供数3件: KMDP2件、フランス1件、累計提供数: 207件

### ◆日本骨髄バンクの現状(平成23年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,524	3,837	392,092	514,363
患者登録者数	277	205	2,780	33,936
骨髄移植例数	103	118	-	13,397
20歳未満ドナー登録者	-	171	15,703 <sup>1)</sup>	-
51歳以上ドナー	228 <sup>2)</sup>	177 <sup>3)</sup>	24,395 <sup>4)</sup>	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。  
1) 17年3月~ 2) 51歳以上ドナーの延長数 3) 51歳以上ドナーの新規登録数 4) 17年9月~